

監視・盗撮

工事に批判的な市民団体メンバーが現地に近付くと



籠谷、入間橋に登場 (鹿島JVの関係者)

住民に監視カメラについて聞かれると

「水槽上部にカメラが設置されているようにみえるが、覗かれているようで気持ち悪い」とのことです。
あれは水槽内部の点検用ですか？ それとも●様監視用でしょうか？(笑) (鹿島JVの関係者)

さらに監視カメラに関するやり取りを続ける中で

ご自慢のうら若き娘様が、お二階に住んでいらっしやいます……
「この時期、暑いので家の中では薄着で過ごしている……」とのこと (鹿島JVの関係者)



東京外かく環状道路(外環道)事業のトンネル工事で、大手ゼネコン鹿島建設を幹事社とする共同企業体(JV)関係者が、地域住民を監視し、隠し撮りをおこなっていたことが編集部の取材で判明しました。中傷する「あだ名」をつけ侮蔑。プライバシーな場所である住民の自宅なども監視していました。住民監視の情報は発注者である東日本高速道路(NEXCO東日本)にも伝えられていました。弁護士は、「度をこえたプライバシー侵害の不法行為だ」と指摘しています。

藤川良大記者

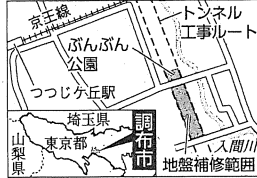


日本共産党国会議員らが行った外環道工事の現地視察の写真には、遠くからスマホを向ける人物が写り込んでいました—2023年11月21日、東京都調布市

住民「陥没事故への謝罪の気持ちないのか」

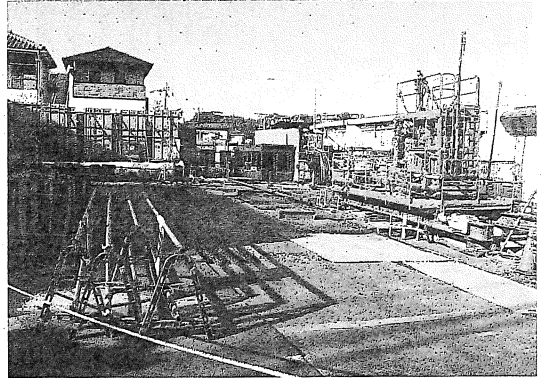
住民の監視・隠し撮りがおこなわれていたのは、東日本高速道路が発注した外環道「本線トンネル(南行)東北北工区」の沿線地域。同工事は大深度地下法にもとづく認可を受け、住居地の地下40m以深を地権者の承諾なしに掘り進めています。

同工事を施工していた鹿島JVは2020年10月、東京・調布市の住宅街で陥没事故を起こし、住民から工事への不安や疑問の声が上がっていました。鹿島JVは現場周辺で23年8月から、陥没事故



と、確認を求められた別の関係者が、住民らを盗撮した写真をチャットにアップしました。この投稿を受け、複数の鹿島JV関係者は、各自の持ち場からいっせいに住民らを監視。動向を逐一共有しました。

「反対派、緑地への対応として、緩んだ地盤を補修する工事をおこなっています。住民らの監視・隠し撮りは、インターネットを利用した「グループチャット」を使い、複数の工事関係者がリアルタイムに情報共有していました。」



地域住民が周辺に来ると動向が工事関係者共有されるぶんぶん公園の工事現場—2023年11月21日、東京都調布市

ですが、居なぐりまりまごと呼び捨てにして共有しています。

マスコミも標的
地盤補修工事を開始した同8月2日以降は、住民だけでなく、工事の取材にきたマスコミの監視までおこなっていました。

マスコミ(三井のリパークに駐車)「マンゴミの名前確認できたらお願いします」と投稿していましたが、投稿はしていません。NはNEXCO(ネクスコ)を名にと

みられます。鹿島JVが組織的に住民監視・隠し撮りをして、その情報を日常的に発注者に報告していた疑いが濃厚です。

工事現場周辺では鹿島JV関係者が、道路などの異常を早期に発見できるように24時間、巡回しています。名前を把握され、監視対象となっていた丸山重威(ただけ)さん。業者が監視していたのは道路の異常だけでなく、住民だったこと

は本当に気持ち悪。そんな業者がこの地域で工事する資格はない」と怒ります。



外環道工事で起こった東京都調布市の陥没事故現場近くにある資料館の壁に設置された作業場に向けた監視カメラ

「反対派、緑地への対応として、緩んだ地盤を補修する工事をおこなっています。住民らの監視・隠し撮りは、インターネットを利用した「グループチャット」を使い、複数の工事関係者がリアルタイムに情報共有していました。」

職員、お気をつけください(同8月9日)とチャットで共有していました。

編集部の取材に籠谷さんは怒ります。マスコミ活動的なことを住民にするのは許せない。陥没事故の被害者住民への謝罪の気持ちなどはないのです。

東京外環道 鹿島が住民を

散歩中から自宅内の様子まで逐一共有

住民をめぐる業者内のやりとり(●●は住民実名)

工事に批判的な市民団体メンバーの動向を報告する中で



●●さんの家の前で●●さんと話していました
(鹿島JVの関係者)

地盤改良工事の開始日に



この暑い中、まだ●●さんの奥さんまで来ました。
(鹿島JVの現地事務所幹部)



工事の騒音で高齢者がパニックや体調不良になると訴える住民に対してもう全くの屁理屈であることは重々理解しております
お見掛けするおばあさまは、いつも銅像のようにリビングで鎮座しており、癡狂している姿が想像がつかないですが
(鹿島JVの関係者)



鹿島JV関係者による監視(同9月6日)。
住民の自宅内は極めてプライベートな場所で、鹿島JVは、そんな場所での動きまで共有していたのです。
鹿島JV関係者は、住民の個人情報もさかんにやりとりしていました。なかには、要望や苦情が金銭目当てだと決めつけて住民を中傷・侮蔑し、税務署への通報をおこなわせる記述もありました。
「板金の仕事よりもクレームで稼ごう」として(同6月20日)「とりあえず税務署に家屋補修のお金を受領している旨、タレコミます」(同7月5日)「N東殿への金銭要求が認められるまでは、このよきな重箱の隅を、再三三三ついてくると思われます」(同8月1日)
鹿島JV関係者は住民を呼び捨てにするだけでなく、侮蔑的な「あだ名」までつけていました。
横断歩道を赤信号の時に渡るなど住民に注意されたこの情報を鹿島JV関係者が投稿した際にも、鹿島JV

組織的な不法行為 度を越す人権侵害

鹿島JVによる住民監視などの行為は、度を越えています。あつてはならないことで、怒りに堪えません。鹿島JVには、事故を起こした者としての責任感も反省も全く見られません。
住民の日常生活の動きを監視して情報共有するのは、人権として守られるべきプライバシーを侵

東京外環道訴訟原告弁護団弁護士 武内更一さん

書しています。ペラペラで何をしているのか、いつ自宅を出たのか、誰と会話したのかという個人の私生活をのぞかれ、逐一、共有されるなど絶対に許されることではありません。個人情報は、監視で得た個人情報すべて住民に開示すべきです。そのうえできちんと住民に説明すべきです。

「髪の手が薄くてオーラルバック、身長160cm未満の方●●さんです」と共有。別の関係者が「例の『赤信号おじさん』ですね」(同6月6日)とチャットに投稿しました。
住民からの騒音の苦情を受けて施した防音対策に関して、要求した住民の名前と自分たちのシールドマシン(掘削機)の名前を重ねて「対おじさんペンシヤル」(同6月16日)と命名する書き込みまでありました。
工事の騒音などで高齢の親族が体調不良になったとして作業中止

侮蔑的な「あだ名」つけ中 傷 要望や苦情を「金目当て」と

「あだ名」つけ中 傷 要望や苦情を「金目当て」と
「あだ名」つけ中 傷 要望や苦情を「金目当て」と
「あだ名」つけ中 傷 要望や苦情を「金目当て」と



外環道工事の現場を調査する日本共産党の(前列右から)岸本なお子調布市議、坂井和歌子衆院東京ブロック比例候補、山添拓、吉良よし子両参院議員、平野よし子衆院小選挙区東京22区候補ら=2023年11月21日、東京都調布市

外環道工事では他の地域でも住民による反対の動きが起きています。それらの地域でも住民監視が行われている可能性があります。
大深度地下法で外環道工事の責任が問われる重大事態です。
編集部の取材に鹿島建設はチャットの使用を認めながら、JV内の情報交換が前提だとし、「内容の回答は控える」。東日本高速と国交省は「把握していないためお答えできない」としています。

出典：しんぶん赤旗日曜版 2024年3月10日・17日合併号

弊社の東京外かく環状道路 本線トンネル（南行）東名北工事 に関する報道について

鹿島建設株式会社

このたび、弊社を代表者とする共同企業体が施工しております「東京外かく環状道路 本線トンネル（南行）東名北工事」において、職員らが近隣にお住まいの方を監視・盗撮しているのではないかという内容の報道がありました。これにより、ご関係の皆様にご迷惑、ご心配をお掛けしておりますこと、まずは心よりお詫び申し上げます。

当現場におきましては、利用範囲を一定の現場工事関係者に限定した上で、施工現場での業務連絡を目的として、グループチャットアプリを利用しております。また、現場周辺にお住まいの皆様に対し、騒音や振動でご迷惑をお掛けしていないかどうかの確認や、現場周辺を見学されている方の安全確保のため、職員が周辺の状況を把握の上、必要に応じてその情報を関係者で共有しているものであり、監視・盗撮を目的とするものではありません。

しかしながら、グループチャットの中で、現場周辺にお住まいの方に対する礼節を欠いた不適切な表現を用いて情報交換があったことを確認しており、この点を深く反省するとともに、これにより不快な思いをされる方に対し、衷心よりお詫び申し上げます。

弊社は、改めて工事関係者に対して、監視・盗撮と誤解されるような行為や不適切な表現での情報交換を厳に慎み、地域の方々に誠意をもって対応するよう指導し、現在も鋭意再発防止に努めているところであります。

地域にお住まいの皆様のご不安を解消することが最重要の課題であることを再認識し、今後も事業者様と連携しながら、より丁寧な対応をもって工事を施工してまいります。

以上

調布市地盤補修工事に係る施工業者内でのグループチャットのやり取りに関する事実確認の結果について

コーポレートトップお知らせ事業に関するお知らせ調布市地盤補修工事に係る施工業者内でのグループチャットのやり取りに関する事実確認の結果について

[事業に関するお知らせの検索結果へ戻る](#)

[ツイート](#)

[シェア](#)

令和6年3月13日

東日本高速道路株式会社

東京外環工事事務所

調布市において地盤補修工事を施工している鹿島・前田・三井住友・鉄建・西武特定建設工事共同企業体（以下、鹿島JV）から、一部報道にある、地盤補修工事に係る施工業者内でのグループチャットのやり取りに関する事実確認の結果の報告がありました。

主な概要は、以下のとおりです。

・一部報道において監視行為や盗撮行為と表現されていた内容は、現場周辺の状況をグループチャット内で共有し、現場の安全管理のために行っていたものであり、住民の方々の監視や盗撮が目的ではないことを確認

・鹿島建設の見解としては、次のとおり

・グループチャット内で一部の鹿島JV職員が、現場周辺にお住まいの方に対する礼節を欠いた表現を用いて情報交換を行っていた

・一方で、現場周辺にお住まいの皆さまに対し、騒音や振動でご迷惑をお掛けしていないかどうかの確認や、現場周辺を見学されている方の安全確保のため、工事現場の周辺の状況を関係者間で共有する行為は、必要な行為であると考えている

・一部の鹿島JV職員が、現場周辺にお住まいの方に対する礼節を欠いた表現を用いて情報交換を行っていたことについては、不適切な行為であったと認識しており、今後、普段から言葉遣い等について適切な表現をするようJV職員内の教育を行うとともに、地域にお住まいの皆さまに対しては、誠意をもって対応するよう、さらに指導徹底する

また、鹿島JVからの報告を受けて、弊社から、地域にお住いの皆さまに対して誠意をもって対応するよう受発注者一体となって取り組んでいくところであり、情報交換にあたっては適切な表現を用いることを指示していますので、併せて報告いたします。

出典：NEXCO東日本HPより